

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年11月16日 第33報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanizomenon sp.*</i>	65		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion sp.</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas sp.</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	600		
(珪) <i>Melosira italica</i>	90		
(珪) <i>Synedra sp.</i>	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula var. leneata</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	30		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	140		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	320		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Dictyosphaerium tetrachotomum</i>	240		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	73		
(緑) <i>Scenedesmus abundans</i>	20		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	54		
(緑) <i>Cosmocladium constrictum</i>	130		
(藍) 藍藻綱	65	3.5	8.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	40	2.2	0.7
(珪) 珪藻綱	750	40.7	28.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	460	24.9	7.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	530	28.7	54.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1845	総体積	3.8E+06
種 類 数	19	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

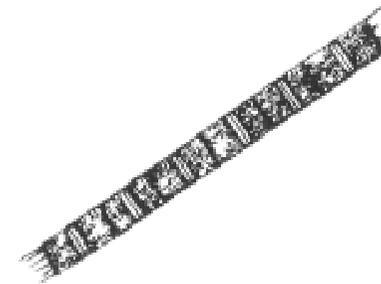
動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	260

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Tintinnopsis cratera</i>	180

* 個体数については、プランクトンネット(300 μm)で採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

動物プランクトン第1優占種



Synchaeta oblonga
(ナガマルドロワムシ)
輪虫類

体は円錐形で足は短く先端の爪は微小である。体長は225~345 μm 。体側は縦の糸線があるのが特徴である。

コメント:

植物プランクトンは前回多かったアファニゾメノンが減少し、メロシラグラヌラータが増加した。コスモクラディウムコンストリクツムはツツミモの一種で、形は繭状である。希に見られる種で、日本では琵琶湖のみから報告されている。動物プランクトンはドロワムシが多かったが、本種は普遍的に分布する種で、冬から早春に多く見られる。